

西尾信用金庫の環境への取組みについて

【地域および社会貢献のための取組み】

当金庫では、平成23年6月1日に、省エネ対策委員会を立ち上げ、チャレンジ25キャンペーンに参加し、地球温暖化防止のため役職員が一丸となって環境負荷低減の取組みを行っています。また、環境保護活動として、三河湾浄化推進活動の一環として西尾市内の3カ所の海水浴場、碧南市臨海公園周辺、碧南市油ヶ淵周辺、矢作川左岸河川敷、亀崎海浜緑地等の清掃活動を実施しています。

【金融商品を通じた取組み】

(1) ECO カーローン

地球環境保護を目的に環境負荷の少ないハイブリッド車、電気自動車等、環境適合車の購入するお客さまに対して地域金融機関として積極的に支援しています。

(2) リフォームプラン・エコ

個人のお客さまで太陽光発電システム、オール電化、ガス省エネシステム、家庭用燃料電池、断熱化リフォーム等地球環境配慮型設備を導入するお客さまを地域金融機関として積極的に支援しています。

(3) 太陽光発電事業支援資金

事業所の工場の屋根などの活用により、太陽光発電設備を設置し新たな事業として取組む事業者に対し資金調達面で支援を行っています。

(4) ECO 私募債

環境保護に積極的に取り組んでいる取引先企業に対して、資金調達面での支援を通じて、環境保全活動に貢献するため、債務保証料の優遇を行っています。

【信用金庫としての環境負荷低減への取組み】

(1) 電力使用量・ガソリン使用量の削減

電力使用量の削減のため、クールビズ、ウォームビズの実施、LED照明の導入、省力化対応 ATM の導入等を実施、ガソリン使用量の削減のために電気自動車、ハイブリッド車及び低燃費車の導入などを実施しております。

(2) 環境配慮型店舗の開設

平成22年5月以降に建替や新築した店舗9店舗は、屋上に太陽光発電システムを設置し、建物内部の照明は全てLEDを採用しております。また、平成25年9月に新築した事務センター棟・研修センター棟は、

屋上に太陽光発電システム、建物にLED照明、昼光センサー、外気冷房、グラデーションブラインド（自動制御システム）を採用することで消費電力量、CO₂排出量を低減させ、駐車スペースには緑化舗装とし、敷地の緑化率を高め、温暖化現象の抑制を図っています。

(3) 太陽光発電事業への出資

「にしお市民ソーラー事業」へ63百万円出資し、太陽光発電をサポートしています。

(4) エコキャップ推進運動

平成22年3月から、環境と世界の子どもたちにワクチン普及、再資源化の促進を目的に、全営業店ロビーにペットボトルキャップを回収する専用回収ボックスを設置し、「エコキャップ推進運動」を開始しました。平成30年7月25日までに9,801,958個提供し、72,790.00kgのCO₂削減が図られました。